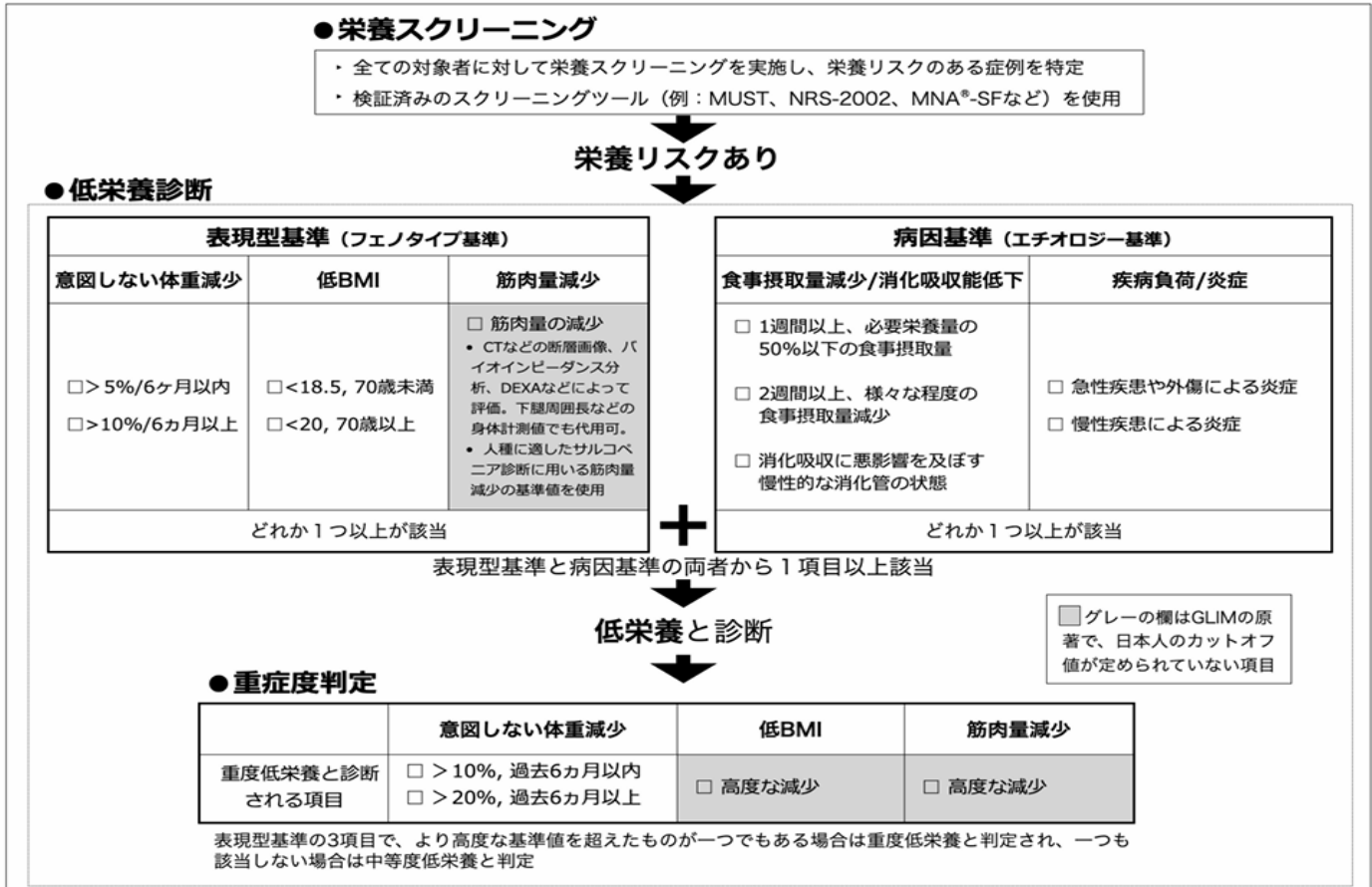


低栄養の診断基準 GLIM基準

GLIM(Global Leadership Initiative on Malnutrition)基準は、2018年に初めて世界基準で提案された低栄養の診断基準です。

当院でもNST回診対象者のピックアップ基準の1つとして利用されています。今回はGLIM基準の概要をお話します。

図 GLIM基準による低栄養診断のプロセス



GLIM基準の簡単なフローは上図の通りです。①スクリーニング、②アセスメント/診断、③重症度判定の3つのステップで構成されています。

①スクリーニング

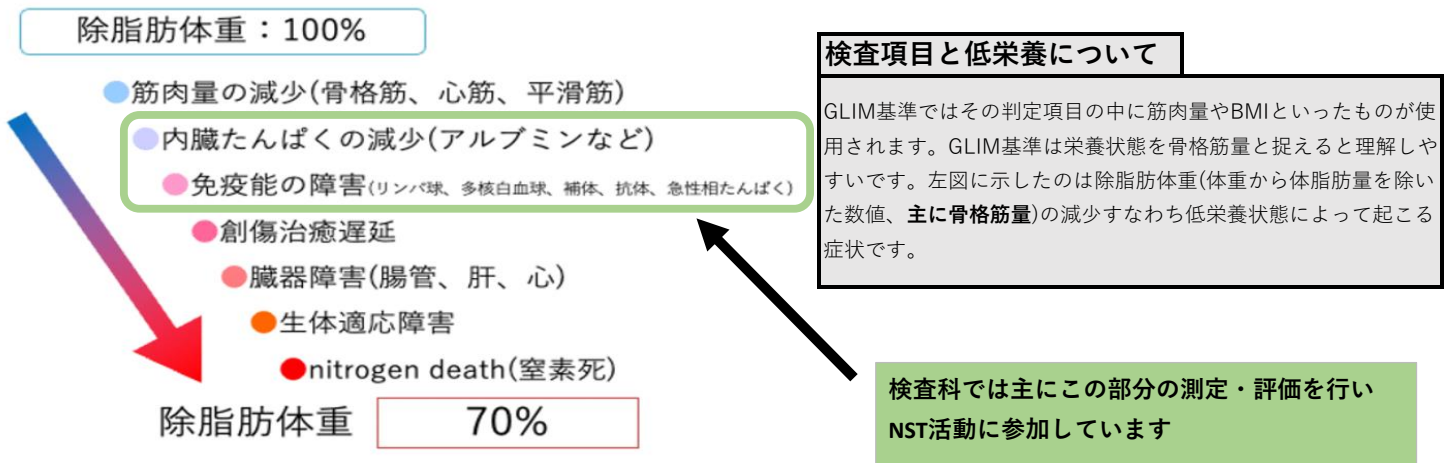
多くの患者の中からスクリーニングツールを使用し、栄養リスクがある症例を抽出します。当院ではMUSTを使用しています。

②アセスメント/診断

栄養リスクがあると判定された症例に対しアセスメントを行います。表現型基準の3項目(体重減少、低BMI、筋肉減少)のうち1つ以上の項目で異常を認め、かつ病院基準の2項目(食事摂取量減少または消化吸収能低下、疾患による負荷や炎症反応)のうち1つ以上の項目に異常を認める場合に低栄養と診断します。

③重症度判定

重症度は低栄養診断の表現型基準の3項目を用いて、中等度もしくは重度の低栄養かを判定します。1つでも重度低栄養の基準を満たすと重度の低栄養と判定します。



【引用文献】

GLIM基準について | 日本栄養治療学会-JHP(https://www.jspen.or.jp/glim/glim_overview)

Clin Nutr. 2019 Feb;38(1):1-9.

JPEN J Parenter Enteral Nutr. 2019 Jan;43(1):32-40.

